



## アドバイザー養成講習会を開催

2018年2月23日  
～25日



平成29年度青少年育成アドバイザー養成講習会が、平成30年2月23日(金)～25日(日)に東京オリンピックセンターにおいて開催されました。当日は講師を含め80名弱の参加者があり盛大に開催された。

開校式では、山本邦彦会長がしっかりと勉強していただきたいと激励の挨拶をされ、続いて、独立行政法人国立青少年教育振興機構理事の平下文康氏が来賓としてご挨拶をいただいた。



つづいて、内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付青少年企画担当主査である櫻川博三氏が、「国の進める子ども・若者育成支援施策について」の講義があった。初日は、この後、夜遅くまで講義が続き、全国各地から集まった受講者の皆さんも、充実した一日であった様子で、笑顔もこぼれていた。



# 講義の様子

養成講習会では、青少年健全育成のエキスパートである様々な分野から著名な講師を迎えて、青少年育成アドバイザーの認定受講者にそれぞれの立場から、わかりやすく講義をしていただいた。

## アドバイザーの役割



全日本青少年育成アドバイザー連合会の山本会長が、「青少年育成運動と我ら青少年育成アドバイザーの役割」と題して講義を行った。

特に、認定後のアドバイザーとしての活動の重要性について、力強いメッセージを伝えておられた。

## 青少年の発達過程における育成課題



群馬大学名誉教授で、旧国民会議の青少年育成アドバイザー養成講座からの講師陣であった荻原元昭先生の講義。人間の発達という観点から、青少年の発達過程の対象と特徴として、胎児期・乳児期・幼児期・児童期・青年期のそれぞれの特徴と課題について、わかりやすく講義をしていただいた。

## カウンセリングの意味と実践の基礎と応用

日本経済大学スクールカウンセラーの柴崎武宏先生の講義が、二日目の午前中に三時間にわたり行われた。アドバイザーとして、今後の活動に必ず必要となる「相談・助言」の基礎的な学習と、その応用について、わかりやすく講義していただいた。



東北福祉大学教授の渡部純夫先生に、「子ども・若者の心理について」と題して「家族の意味」「秘密を持つことの意味」「思春期の意味」などを、わかりやすく講義していただいた。

## インターネットに関する講義

講義の中で、特に印象的だったのは、現代社会で非常に問題になっているインターネットと青少年の問題について、NPO法人青少年メディア研究協会理事長の下田太一先生の講義であった。「子ども達にとってケータイ・スマホとは何か?」という観点から、「非常識なケータイ・スマホ利用はなぜ起こるのか?」「ケータイ・スマホは常識を教える存在?」「欲しいものを手に入れて何が悪い?」「ケータイ・スマホについて考える理由」など、わかりやすく講義していただいた。



## 総会・研究集会のご案内

日時：平成30年6月24日～25日(月) 13:00～

場所：パレス松洲

宮城県松島町高城字浜38

TEL 022-354-2106

## Facebookフォローのお願い

全日本青少年育成アドバイザー連合会では、会員の活動紹介や、連合会の事業紹介のためにFacebookを開設しています。

会員の皆様をはじめ、青少年健全育成のためにご尽力いただいている皆様にご紹介いただき、是非ともフォローしていただき、多くの皆様に活動をご紹介。お知らせしたいと考えています。「全日本青少年育成アドバイザー連合会」と検索して下さい。



# 養成講習会写真集

全国に仲間が出来ました。



## 講習会の様子

強い絆が出来ました。



## 講習会受講者ご紹介



愛知県 黒田 忠晃

今回の養成講習会では、教育に熱い想いを持っていていらっしゃる多世代、多地域の皆様と、講義と演習、交流の豊かな時間を過ごせました。

講義では、国の子ども・若者育成支援の取組を学んだ上で、発達課題、カウンセリング、子ども参画、居場所づくり、ネットモラル等の切り口から、青少年を取り巻く課題や対策を学び、グループワークで、価値観の多様化や地域連帯感の希薄化、少子高齢化という課題のある中で、青少年健全育成活動をどうデザインするかを考えました。

3日間を通じて、子どもを如何に参画させるか、そして、大人も多様性を学びながら、未来にはばたく子どもに、どう寄り添い、信じて見守るかが鍵であることを学びました。その仕組みを創るためにも、青少年育成アドバイザーとして地域で活動することは意義あることと感じております。今後は、行政とも連携を取りながら、諸先輩方からご指導いただきながら、未来に輝く人を育むサポートを続けて参ります。

貴重な機会とご縁をいただき、本当にありがとうございました。



兵庫県 後藤 みなみ

昨年1月に、兵庫県青少年育成アドバイザー協議会の入門講座を受講し、4月入会した新米ですが、この度、全日本講習会に思い切って参加して、諸先生の多くの示唆に富んだご講義は大変勉強になったうえ、他府県からの参加者とともに学べる有意義な3日間だと心から感謝します。

とりわけ、萩原元昭先生の「求めに応じた支援」するには、「自らのバーチャ（強い生活力）を高めることで、適切な援助ができる」という話が心に残りました。また、「自分は子どもだ」と笑顔で話す渡部純夫先生も印象的でした。自分の内なる子どもの声に耳を傾けて受け入れることが大事だと気づかされました。

グループワークでは、それぞれの地域で抱える問題などについて意見交換ができて良い刺激を受けました。二日目の夜の交流会で、私が台湾出身と話したところ、色んな方と会話が弾んで楽しかったです。このご縁に感謝します。今後ともよろしくお願いたします。



山梨県 望月 裕

「養成講座に参加して」

今回の養成講習会を受講するに当たり、このオリンピック記念青少年総合センターに宿泊するのは実に42年ぶりのことです。小学校6年の時、スポーツ少年団のリーダー研修会の全国大会がここで開催され、それに参加して以来です。当然、その当時の建物ではないと思いますが、とても懐かしい気持ちで参加しました。養成講習会は思った以上に密度の濃いものでした。内容も素晴らしく、また全国の仲間と話が沢山できたことも良い経験となりました。今後アドバイザーとして資格を取得し、皆さんと一緒に活動ができることがあればいいなあと思っています。42年前は鹿児島の方の方言が解らず泣きそうになりましたが、今回は楽しくお話が出来てそれも良い思い出となりました。ありがとうございました。



岐阜県飛騨市

アースアズマザー岐阜エリア

生活困窮者自立支援 就労準備支援  
事業所

雲英 顕一

青少年育成アドバイザー養成講習会  
に参加して

今回初めて青少年育成アドバイザー講習会に参加させて頂きましたが、まずもって、講師の方々が非常に素晴らしかった事が強く印象として残っています。

皆様、それぞれの分野でスペシャリストであり、その専門性を基軸にしつつ

現場において、様々な事例の中で知見を積み重ねながらブラッシュアップして私たちの日常の活動に役立つ「智慧」を提供してくださるような講義が多く、非常に興味深いお話を多方面から伺うことができ、幅広くかつ専門領域も含めた多角的な視点から子どもたちの発達過程や青少年育成に関して様々な知見を得ることができました。

特にグループセッションでご助言を頂いた渡辺先生には、煮詰まった議論を一気にまとめる方向に導いて下さる助言を頂きました。

相談を受け、自らが自立し課題解決に向かう支援育成のお手伝いをさせて頂く支援者側の立場から、チームとしてのスキルや知識の充実や共有の大切さを学ばせて頂きました。

講師の皆様、そして事務局の方々、サポートして下さった皆様、一緒に養成講習会を受講した皆様、誠にありがとうございました。地元に戻り、地域における実践で活かして参ります。



山形県 阿部典子

この度参加させていただいた青少年育成アドバイザー養成講習会は、当初「仕事にもプライベートにも生かせるヒントがもらえるかもしれない。興味のある内容なのでちょっと勉強してみたい。」と軽い気持ちで申し込みました。そして「自身の活動の紹介資料を25部程度お持ちください」との連絡があったので、参加申込みは30人くらいなのだろうと勝手に想像していました。

ところが、当日行ってみると、会場いっぱいの全国から集まった参加者に驚愕。しかも、お話ししてみると、それぞれ様々な活動をしていらっしゃる方々ばかり。そして、次々と刺激的な情報をくださる経験豊富な講師の皆様方。夜遅くまで盛りだくさんの濃密なスケジュールに、私は三日間の学びの時間が楽しくて仕方がありませんでした。

中でも、山本会長の「このままで良いか?」「志はあるか?」という問いかけは私の心にガツンと響き、市職員としても、プライベートでも、行動を起こそうという気持ちになりました。そして今、早速できることから動き始めたところです。

三日間、本当に勉強になりました。最終日に新幹線の時間が気になり、お世話になった皆様方にご挨拶もままならず帰って来てしまったことが唯一の心残りです。紙面をお借りし、あらためて感謝申し上げます。機会がありましたら、また勉強させていただきたいと思っております。ありがとうございました。

